

# 防災・安全ニュース

VOL. 12

危機管理課

2024年4月号

電話65-1282

先月27日に気象台が、松山にある桜の標本木での開花を発表し、平年より3日遅れ、昨年よりも9日遅れということでした。少し遅めの開花でしたので、学校の入学式まで花がもって満開だとよいだろうなと思っています。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・活断層の地震発生確率
- ・春の全国交通安全運動
- ・線状降水帯の予測

## 活断層の地震発生確率

日本の陸域には、約2,000の活断層があるとされていて、新居浜市の近傍には中央構造線断層帯があります。その30年以内の強い地震の発生確率は、ほぼ0~12%ですが、よく知られている南海トラフ地震の30年以内の地震発生確率70~80%と比較すると小さい値のように感じられます。しかし、地震の発生間隔が千年程度の活断層においては、30年以内の確率がどうしても小さな値となってしまいます。ちなみに、兵庫県南部地震（平成7年の阪神淡路大震災）と熊本地震（平成28年）の地震発生直前の確率を求めてみると、前者が0.02~8%、後者が0~0.9%だったそうですので、数字に惑わされないで備えることが大切です。

下に確率の数値を受け止めるための参考情報(地震と自然災害などの確率を比較した表)のリンク先を記載していますので、参考にしてみてください。



[https://www.jishin.go.jp/main/chousa/10\\_yosokuchizu/k\\_sanko.pdf](https://www.jishin.go.jp/main/chousa/10_yosokuchizu/k_sanko.pdf)

## 春の全国交通安全運動

今月6日（土）から15日（月）は、春の全国交通安全運動期間で、10日（水）は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

今年の愛媛県のスローガンは「**抜け道と 思うな そこは通学路**」で、4月は小学校の新1年生が通学を始めますが、子供たちは、大人より視野が狭く、お友達とふざけあって思わぬ動きをすることがありますので、車もバイクも傍を通行するときは十分に注意を払って、特に狭い道では最徐行の心がけをよろしくお願いします。

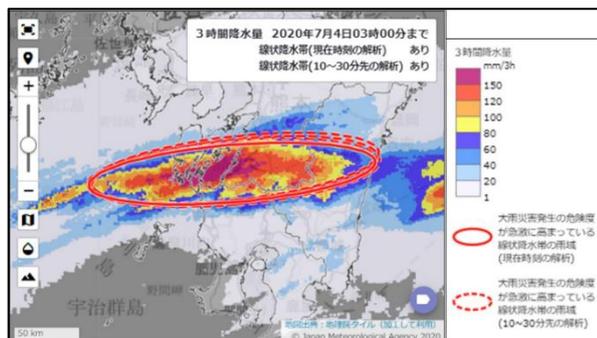
また、初心者マークを貼った新社会人の車もよく見かける時期となります。「思いやり」と「ゆずり合い」の精神で、交通安全に心がけていただければ幸いです。



## ・線状降水帯の予測

近年は、毎年のように全国各地で大雨による土砂災害や河川の氾濫などの被害が多発しています。気象庁では線状降水帯について、令和3年から発生を発表、令和4年から広域（新居浜だと「四国地方」）で半日程度前から予測を発表、令和5年からは30分程度前から予測を発表、今年度からはこれまでの広域での発表を県単位で発表することを目指しています。

線状降水帯の予測は非常に難しいようですが、技術の向上で少しずつ早く、地域を限定して発表できるようになってきました。しかし、情報を受け取る側の一人ひとりが防災情報入手の方法確立と早め



線状降水帯発生状況と予測

※気象庁HP

の避難を心がけなければ、被害を受ける可能性が高くなります。

線状降水帯というキーワードを聞いたならば、危険が迫る情報であるという認識を持つようよろしくお願いいたします。

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

この防災・安全ニュースは、昨年5月から始めましたので、開始からちょうど1年を迎えました。拙文ではございますが、今後ともご覧いただけるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

(N.O)